

## メキシコでの新規鋼板加工センター設立について

---

株式会社メタルワン(本社:東京都港区 社長:松岡 直人)は、メキシコ合衆国グアナファト州アパセオ・エル・グランデ市に、主として自動車産業向けの鋼板加工サービスセンター「Nicometal Bajio, S.A. de C.V.」を設立致しました。

メタルワンは、現在メキシコ中部に「Nicometal Mexicana, S.A. de C.V.」(1994年設立、アグアスカリエンテス州)、北東部に「Coilplus Mexicana, S.A. de C.V.」(2010年設立、コアウイラ州)、及び首都の北郊約80kmの「Nicometal Hidalgo, S.A. de C.V.」(2012年設立、イダルゴ州)の三拠点を、メタルワングループ100%出資の直営鋼板加工サービスセンターとして有しており、今般、日系自動車関連企業の進出が活発なメキシコ中央高原のグアナファト州(首都の北西約200km)に設立した新会社は、メキシコでの四拠点目の鋼板加工サービスセンターとなります。

新会社は、既存三拠点(三拠点目のNicometal Hidalgo, S.A. de C.V.は、2013年初頭の操業開始に向け、現在順調に建屋建設中)との強固な連携・ネットワークを基盤として、中央高原地域の旺盛な需要に的確に応えて参ります

2011年に過去最高の、世界第8位となる268万台を生産したメキシコの自動車産業は、競争力の高い豊かな労働力を背景に、世界的な小型車シフトが進む中、その一大生産拠点として世界の自動車生産を牽引していくものと期待されています。

メキシコの積極的な自由貿易政策により締結した44の国・地域との通商協定は引き続き同国の自動車産業拡大を支えており、また、最大の市場である米国と隣接している地理的優位性は自動車メーカー及び部品メーカー各社を惹き付けており、同国自動車産業の益々の発展が見込まれております。

メタルワンはメキシコにおいて、北東部、中部、中央高原、首都近郊の計4か所に主要な産業集積地を網羅する鋼板加工サービスセンター網を整えておりますが(4拠点合計の加工能力 約100万トン/年)、今後ともより高いレベルの機能・サービスの提供によって幅広くお客様のニーズにお応えするべく体制整備を進め、自動車産業を中心に拡大するメキシコの産業発展により一層の貢献をして参ります。

### ■ 新会社の概要

1. 会社名 : Nicometal Bajio, S.A. de C.V. (カタカナ読みはニコメタル バヒオ)
2. 所在地 : メキシコ合衆国 グアナファト州 アパセオ・エル・グランデ市
3. 資本金 : 約13百万USD
4. 株主 : メタルワングループ 100%
5. 会社設立 : 2012年10月
6. 操業開始 : 2013年末(予定)
7. 従業員数 : 約70名(予定)
8. 事業内容 : 鋼板の加工・販売
9. 設備仕様 : 大型スリッター2基
10. 加工能力 : 約30万トン/年(予定)